

茶話会『先輩と話そう！文学部学生交流会』第三回

第3回(日時：2012年2月7日14時～16時、会場：文学部新館第1講義室)

報告

「学生相談室プロジェクト」による茶話会『先輩と話そう！文学部学生交流会』も三回目を迎えることができました。ご協力賜りました皆様にはこの場を借りて篤く御礼を申し上げます。

交流会は無事に終了いたしました。最初に全体の趣旨説明、四つのブース（進学、就職、教職、生活）および協力して下さる研究室の紹介がなされ、その後自由歓談となり、16時頃散会いたしました。

今回も参加者の皆様から貴重なご意見を賜りました。これらをふまえて次回の交流会はより充実したものになりたいと考えております。今後ともご支援、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

交流会に参加して下さった学部1、2回生の声

- 今回の交流会に参加にしてよかったと思う、その理由を教えてください。
 - 通常大学に通うだけでは分からないことが分かった。
 - 他の専修の人に色々な相談ができた。
 - 専修の先輩方の話を直接聞いた。
 - 留学や進学に関する話を聞くことができたのが良かった。
 - 各専修の雰囲気や院に進学した後の生活など、普段は聞けない貴重な話を聞くことができた。
 - 普段接点のない人の話を聞くことができた。
 - ブースに分かれていたので、分かりやすかった。
- 今後の交流会開催のために、ご意見・ご要望があれば教えてください。
 - 自分の専修の人があまりいなかったのが残念だった。
 - 宣伝が足りない。
 - 是非続けて欲しい。

サポーターとして参加して下さった学部4回生・院生の声

- 今日の交流会でどのような相談を受けましたか。
 - 就職の面接や筆記試験など。
 - 交換留学について。
 - 進学について。

- 修士と学部の違い。
- 教職の取り方。
- 専門の選び方。
- 専修の変更について。
- 研究の話。
- 学部生のやりとりの中で、気付いた点がありましたら教えてください。
 - 広報が行き届いていない可能性がある。
 - 最初の方で学部生が入りづらそうにしていたので、何か工夫をすると良いと思った。
 - 院生（not 学部生）とのやりとりの中で、専修ごとに様々な研究をしていることは分かったが、横のつながりを強めるきっかけ、方向づけを与えられたようには思えない。
 - 女性の参加者が多かったので、話しやすい雰囲気を作れるようにもっと工夫しないといけないと思った。
 - 自分が学部1，2回生のときのことを思い出せなかった。年を撰り過ぎたのかも。
- 今後の交流会開催のために、ご意見・ご要望があればお聞かせください。
 - 学部生にもっと宣伝すること。
 - 企画そのものは院生の横のつながりを作る良い機会だと思った。
 - 専修を決める前の1回生が多いと、開催の意義が半減するように思います。
 - 授業のあるときの方が集まりやすいと思う。
 - 座れるようにしてほしい。
 - 自己紹介や研究室紹介にあてる時間が少し長い。資料も欲しいところ。
 - 雨の日の開催は避けた方がよい。
 - 研究室紹介として何を準備すればよいのか、事前に教えてほしい。